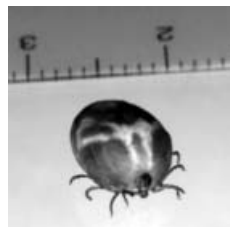


# ダニによる感染症に注意！！

●フラトゲチマダニ  
 (写真提供 国立感染症研究所  
 昆虫医学部)



## ダニによる感染症とは・・・

春から秋にかけて活動が盛んになるダニ。

病原体を保有するダニ(マダニ類やツツガムシ類)に咬まれることで、感染症にかかることがあります。

### 重症熱性血小板減少症候群 (SFTS)

■病原体	SFTS ウイルス
■病原体を持つダニ	マダニ類
■症状等	発熱、消化器症状(食欲低下、嘔気、嘔吐、下痢、腹痛等) 頭痛、筋肉痛、神経症状(意識障害、けいれん、昏睡)、 リンパ節腫脹、呼吸器症状(咳など)、出血症状(紫斑、下血)等 重症化し、死亡することもある。 (抗ウイルス薬等の特異的な治療はなく対症療法が主体となる。)
■潜伏期間	6日～14日間ほど

### 日本紅斑熱

■病原体	日本紅斑熱リケッチア
■病原体を持つダニ	マダニ類
■症状等	頭痛や倦怠感、寒気等のかぜ様症状とともに急激な発熱後 顔面などに米粒、小豆大の紅斑が出現(手のひらにも赤斑が出現) 適切な抗菌薬を用いた治療を行わないと重症化し、死亡することもある。
■潜伏期間	2日～8日間ほど

### つつが虫病

■病原体	つつが虫病リケッチア
■病原体を持つダニ	ツツガムシ類
■症状等	頭痛や倦怠感、寒気等のかぜ様症状とともに急激な発熱後 顔面などに米粒、小豆大の紅斑が出現(紅斑に痛みやかゆみはなし) 適切な抗菌薬を用いた治療を行わないと重症化し、死亡することもある。
■潜伏期間	5日～14日間ほど

※マダニ類やツツガムシ類は、草むらや藪に生息しているダニです。  
 「ダニ」といっても、食品等に発生するコナダニや衣類や寝具に発生するヒョウヒダニなど、屋内に生息するダニとは種類が異なります。

## ダニ対策

- 長袖、長ズボンなどを着用し、ズボンやシャツの袖を入れ込むなど、なるべく肌の露出をさけましょう。
- 服や靴の素材は、白っぽい色で滑りやすい素材(ナイロン製等)を選ぶと、発見しやすく付着しにくくなります。
- 首にかけるタオルや脱いだ上着などは直接地面に置いたり木に掛けたりせずに、バックの中にしまいましょう。
- 虫除けスプレーを使用しましょう。
- 服にダニが付着している可能性があるため、車や家に入る前に服などをたたきましょう。
- 帰宅後、入浴して、ダニに刺されていないか確認しましょう。
- 犬や猫のペットにも付着して吸着するので、散歩から帰ったら、マダニが寄生していないか確認しましょう。
- ペットには、ペット用ダニ予防薬もあります。

## ダニに咬まれたら・・・

- 吸血中のマダニを見つけたら、そのまま取らずに、できるだけ医療機関で処置してもらってください。  
マダニを無理に引き抜こうとすると、マダニの一部(口器)がちぎれて皮内に残ってしまうことがあります。  
また、マダニが病原体をもっている場合もあるので、つぶさずに慎重に除去する必要があります。  
(マダニの一部が残ってしまった場合も、医療機関で処置してもらってください。)
- 症状が出たら、速やかに医療機関を受診しましょう。  
発熱、発疹、消化器症状など、症状がでたら早めに病院を受診し、ダニに咬まれたことを医師に教えてください。